

(倫理指針に則る情報公開)

~次世代の医療のために~

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料(検体、おもに血液・髄液等)と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。 この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で ミトコンドリア病と診断された方

【研究課題名】

ミトコンドリア病の病因・治療研究

【研究責任者】

有本博一(東北大学大学院生命科学研究科分子情報化学分野)

【本研究の目的及び意義】

細胞内のミトコンドリアは、オートファジーにより分解され、新たなものと入れ替わります。この課題では、化合物を使って培養細胞のミトコンドリアの分解と再生を促進し、ミトコンドリア病の改善が見られるかを研究します。2022年度までNCNPと共同で実施したミトコンドリア病の病因・病態・治療研究の継続研究です。

【本研究に提供する試料・情報】

繊維芽細胞

【研究期間】

研究開始日~2026年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail:biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)